

栃木放送平成 23 年度第 5 回 9 月期定例番組審議会議事録

- 1.開催の日時 平成 23 年 9 月 6 日（火）午前 11 時
- 2.開催の場所 栃木放送本社会議室
- 3.委員の出席 委員総数 9 名
出席委員 8 名
欠席委員 1 名

出席委員名	委員長	増田 仲夫
	副委員長	鈴木 正好
	委員	太田 照男
	委員	安納 守一
	委員	佐藤 正典
	委員	小島 俊一
	委員	竹内 明子
	委員	荒川 勉
局側出席者氏名	代表取締役社長	栗山 正道
	取締役	竹澤 一夫
	報道制作局長	高瀬 一也
	報道制作部	小暮 智

4 議 題

- (1) 「高校野球実況中継」について
- (2) その他

5 議事内容

- (1) 「高校野球実況中継」について

試聴番組：平成 23 年 7 月 11 日（月）、7 月 26 日（火）、
7 月 31 日（日）放送の抜粋およそ 10 分間を試聴

議題説明：報道制作部 小暮 智

はじめに高校野球実況中継の概要について説明。

次に今年の実況中継の抜粋を試聴し、審議に入る。

各委員からは、

- 実況アナウンサー 3 人の喋りのスピードが微妙に違う。ゆっくりめの方が聴きやすかった。女性リポーターの喋りはもっとゆ

- っくりでもよい。解説の喋りはゆったりしていてよかった。
- 実況アナウンサー3人の個性が出ていたと思う。喋りのテンポは聴いている方の基準でも違ってくると思う。的確な解説がよかった。
 - リポーターは応援席の雰囲気です早口になってしまうのだろうが、語尾がもっとはっきりするとよい。
 - 実況アナと解説者の間合いが大変だと思う。
 - 野球の専門用語は素人には分かりにくい部分がある。
 - 試合経過が途中から聞いてもわかり、よかった。
 - 同じく高校野球を中継しているテレビとは中継試合の調整はしているのか？
 - 球場の雰囲気も伝わり、解説者とのやりとり、試合の内容も入っているので、よかった。
 - スポーツの実況はラジオの力を発揮できる分野だと思うので、しっかりやってほしい。
 - テレビなど偏った解説が目につく中、そういうこともなく、よかった。リポーターの「黄色い声援」という表現が気になった。
 - 車の中で聴いていると、実況の張り上げた声に力が入ってしまうこともある。
 - 全国放送と比べ、地元の情報では有利だと思うので、それを生かした放送を進めるべきである。
 - 聴取者からの応援メッセージの採用を検討すべき。

などの意見が交わされた。

当社としては、これらの意見を参考に、今後の高校野球実況中継や他のスポーツ中継番組に取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

23年度第6回10月期の審議会開催日を決めて閉会した。

以上